

別紙1 審査基準書

「みやざきデジタル人材育成事業」に係る業務委託 審査基準書

審査項目	審査内容	配点	
習得講座 ITスキル	講座内容	受講者の興味を引き、県内IT企業等が求める人材ニーズを踏まえたテーマ設定や講座内容となっているか。	20
		定員、頻度、1回あたりの時間、対面とオンラインの組み合わせなど、受講者が参加しやすい実施形態となっているか。	
	フォロー体制	中途での離脱者の発生を防ぐための仕組みがあるか。	
	学習サポート	受講者のITスキルの習熟度を高めるために十分な学習支援体制が整っているか。	
	講師選定	業務の趣旨に沿った適切な講師が選定されているか。	
県内企業への 就職支援	支援内容	受講者の県内IT企業等への理解向上を図り、各々の進路選択に資する内容になっているか。	30
	参加機会確保	企業説明会やインターンシップの機会を十分設定できているか。	
	県内IT企業等からの協力	本事業を県内IT企業等から、本事業への協力を得られる体制となっているか。	
	フォロー体制	希望者に対して、面談やキャリアコンサルティングの実施、託児サービスの提供体制が整っているか。	
興味・関心講座 若手求職者向け	参加者確保	目標とする参加人数の確保に向けた、県内企業や学校との連携手段が適切・効果的か	20
	講座内容	受講者の興味・関心や学習意欲を高め、将来のIT企業等への就職に繋がるようテーマ設定や講座内容となっているか。 近年のトレンドを取り入れ、学生が自主的に参加したくなるテーマや内容、講師であること。	
運営 本事業全体の マネジメント	集客・広報	ITスキルへの関心や県内IT企業等への就職意欲が高い受講者を集めるために効果的な広報手段となっているか。	25
		提案の中に受講人数及び就職者数の達成に向けた戦略や具体的なプランがあるか	
	体制	業務実施体制は十分か。	
	スケジュール	目的達成に向けた効果的・計画的なスケジュールとなっているか。	
	経費積算	経費は、経済的な積算となっているか。(※以下の方法で計算し、採点する。) ※=5×最も低い見積額÷審査対象者の見積額	5
合計		100	

【審査方法】

- (1) 委員長及び委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2) 全ての点数を集計する。
- (3) 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を受託事業者として決定する。
なお、点数が同点の場合は、以下の優先順位に従い決定する。
① 最高点を付けた委員が多いもの。② 審査員による協議
- (4) 合計点数が最低基準点である180点(満点300点×6割)以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5) 参加者が1者だけの場合は、合計点数が最低基準点である180点(満点300点×6割)以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

【評価基準(5段階)】 ※下記を基準に係数を乗じた点数とする。

段階	5	4	3	2	1
評価	標準より 非常に優れた提案	標準より 優れた提案	標準的な 提案	標準より やや劣る提案	標準より 劣る提案